

大船渡湾内観測結果(No.8)

“今月の話題”

湾内の水温は12～15℃台であり、例年並みから1℃程低くなっています。二枚貝等の餌の量を示すクロロフィルは、湾口付近と比べて湾奥部で高くなっています。

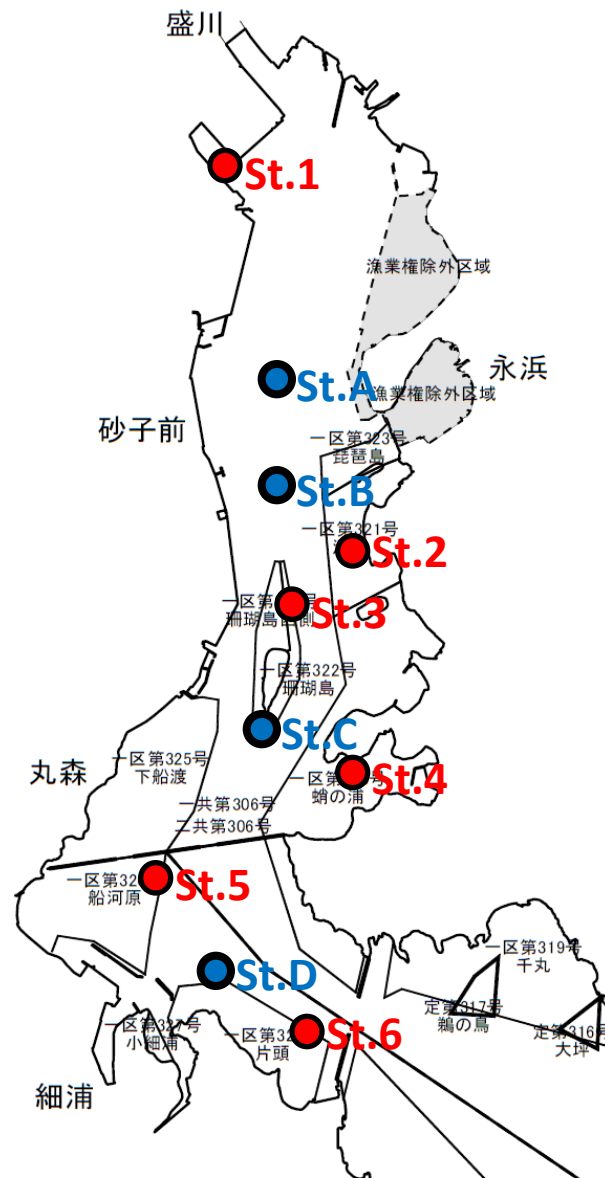
11月16日に行った大船渡湾内観測結果をお知らせします。

透明度は6.0～11.0mであり、平成18年度から平成28年度の平均値と比べて、-1.7～-0.5mの範囲内でした。

水温は水深2.5mが13.5～15.3℃、水深10mが15.0～15.1℃でした。平成18年度から平成28年度の平均値と比べて、水深2.5mが-1.3～+0.4℃、水深10mが-0.7～-0.4℃の範囲内でした。

海域名:大船渡湾
 調査担当:水産技術センター、大船渡市

観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日		平成29年11月16日					
観測時刻		11:12	11:23	10:54	10:39	10:28	10:11
天候		晴					
気温(°C)		8.3					
風向		N					
風力		2					
水深(m)		8.9	24.6	27.5	18.2	25.2	36.8
透明度(m)		6.0	10.0	8.5	10.5	10.5	11.0
水色		7	6	6	6	6	6
水温(°C)	表層0m	15.3	14.3	14.5	12.3	13.0	13.1
	水深2.5m	15.3	14.8	14.6	15.2	13.5	13.5
	水深10m	-	15.0	15.0	15.0	15.1	15.0
	海底上1m	15.0	14.7	14.8	14.9	14.8	14.6
塩分	表層0m	33.5	32.5	32.4	31.3	31.5	31.5
	水深2.5m	33.7	33.0	32.6	33.1	32.1	31.8
	水深10m	-	33.8	33.8	33.8	33.8	33.8
	海底上1m	33.8	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9
溶存酸素飽和度(%)	表層0m	85.9	94.5	97.2	92.1	93.1	93.9
	水深2.5m	84.4	94.3	97.4	92.7	93.4	93.8
	水深10m	-	84.7	83.1	86.9	85.1	89.5
	海底上1m	71.1	89.4	89.9	85.7	90.2	92.4
クロロフィル(Chl-Flu.(ppb)) ※観測機器の測定値	表層0m	1.8	0.7	1.2	0.3	0.4	0.5
	水深2.5m	2.2	1.2	1.7	0.5	0.4	0.5
	水深10m	-	1.3	1.2	0.8	0.6	0.9
	海底上1m	0.6	0.6	0.5	0.6	0.5	0.6



©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。

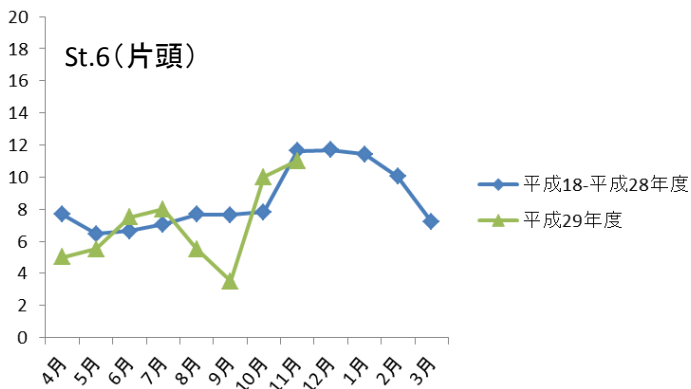
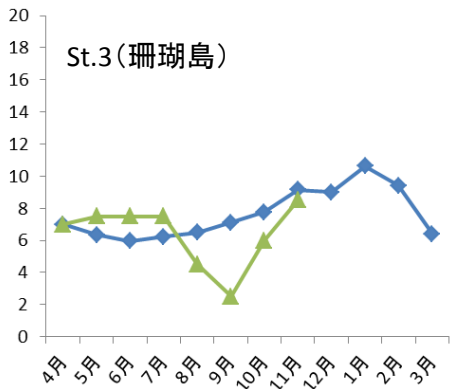
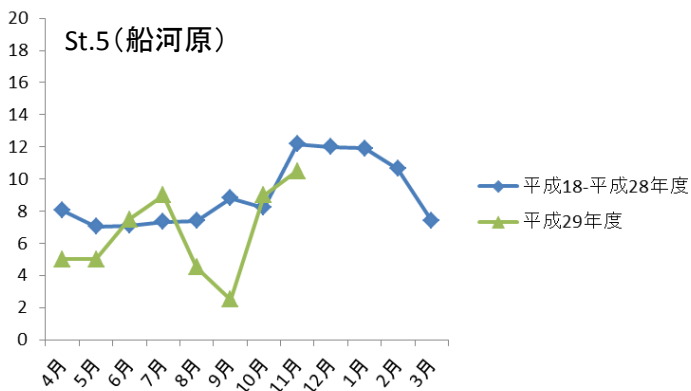
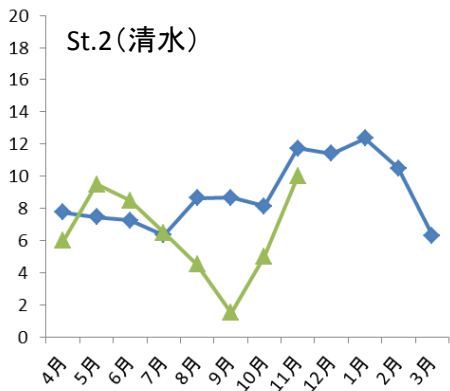
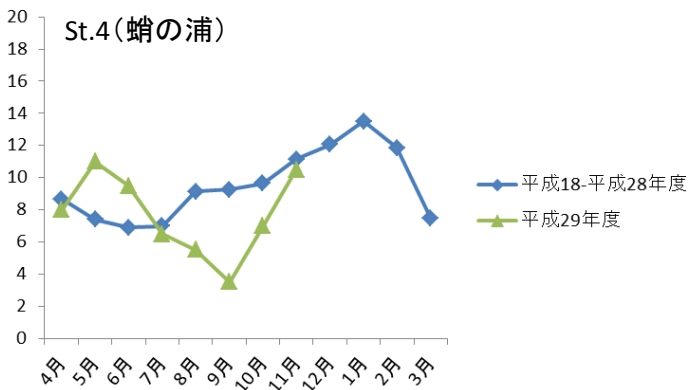
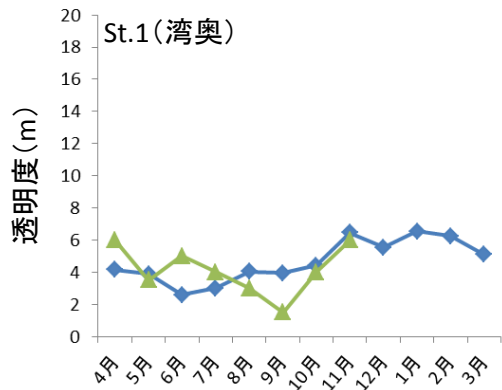


図2 透明度の推移

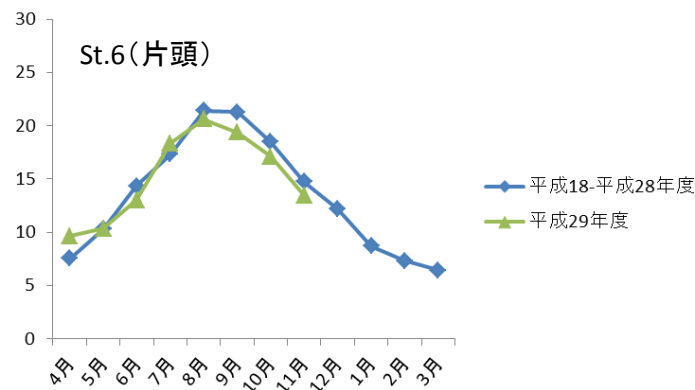
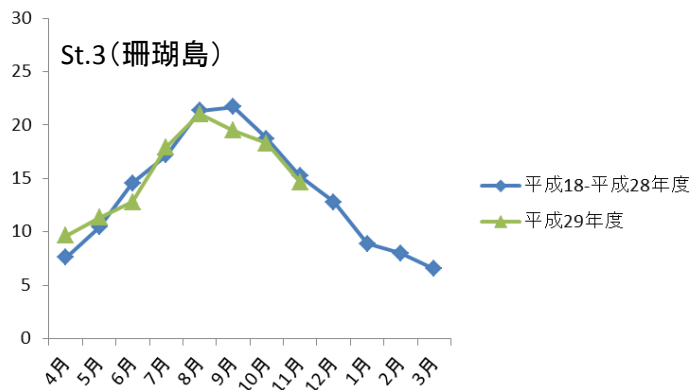
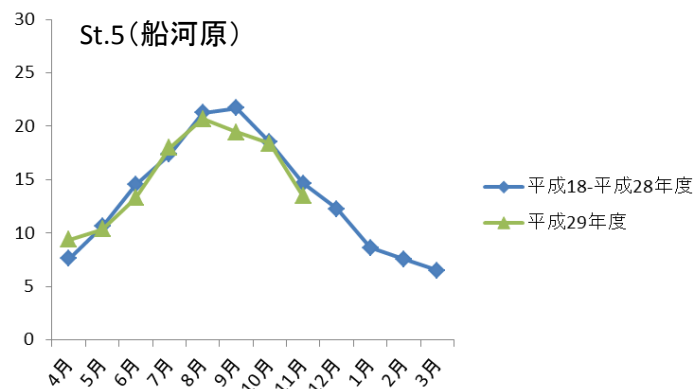
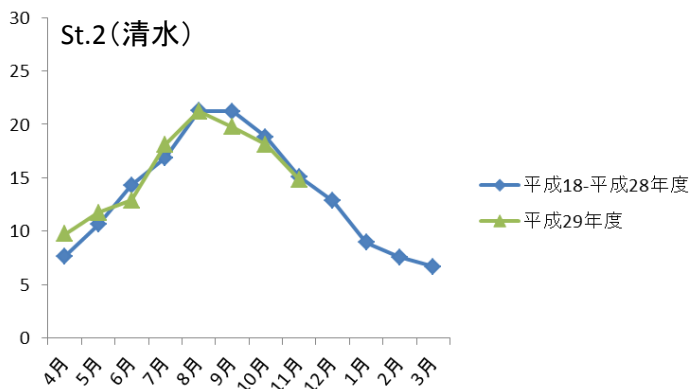
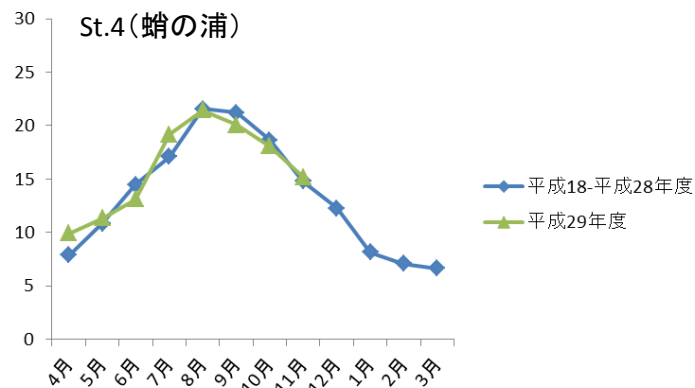
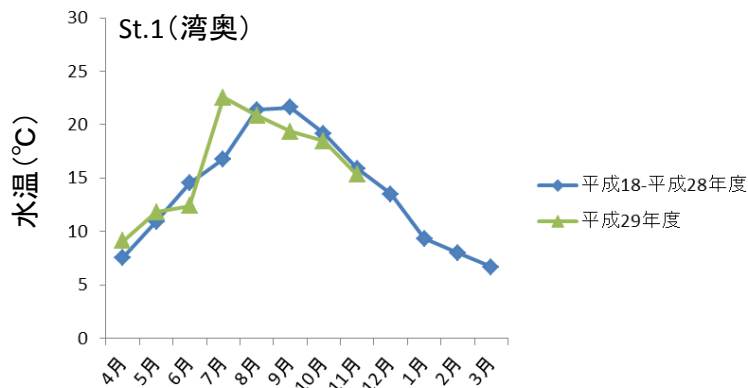


図3 水深2.5mの水温の推移

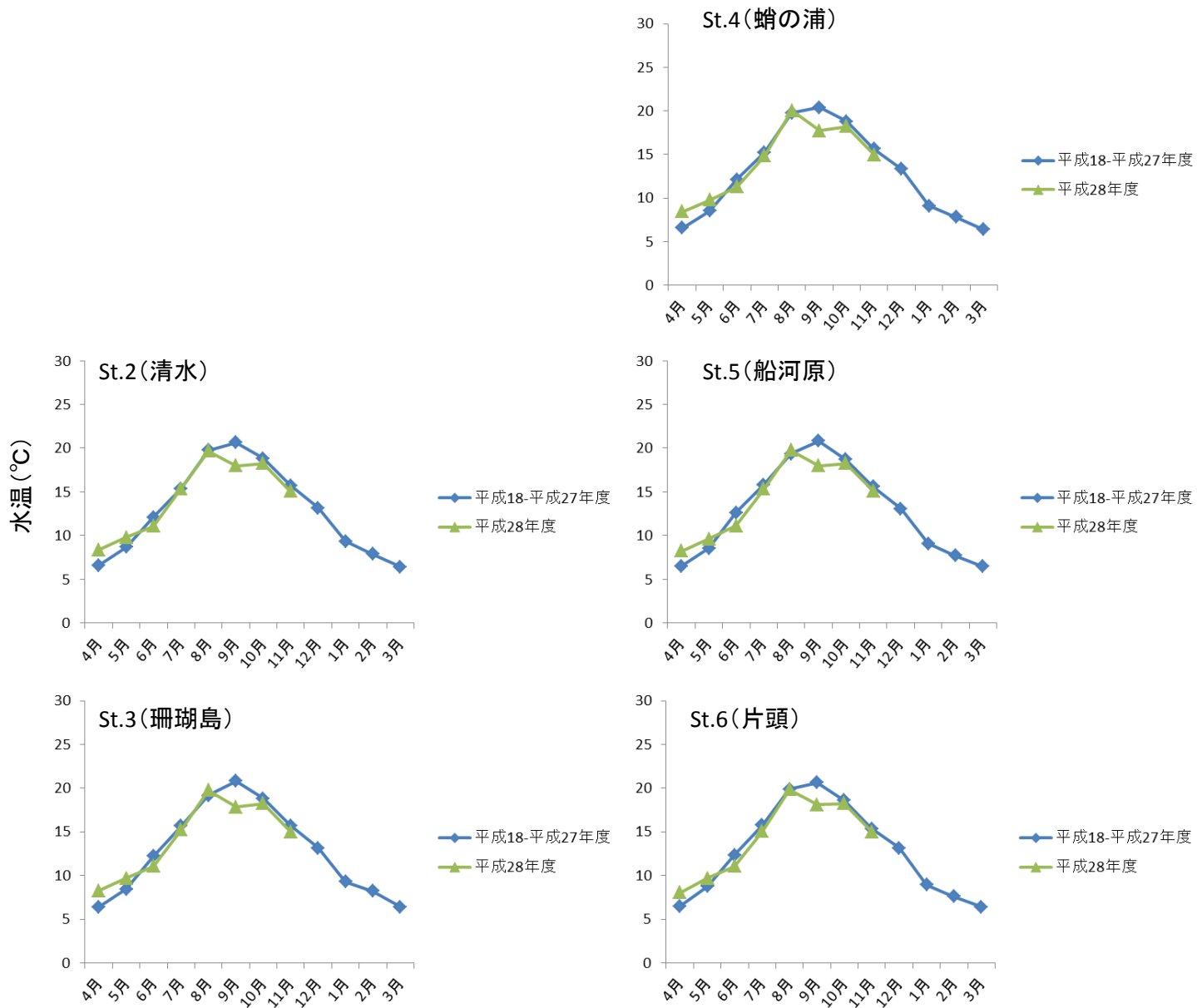
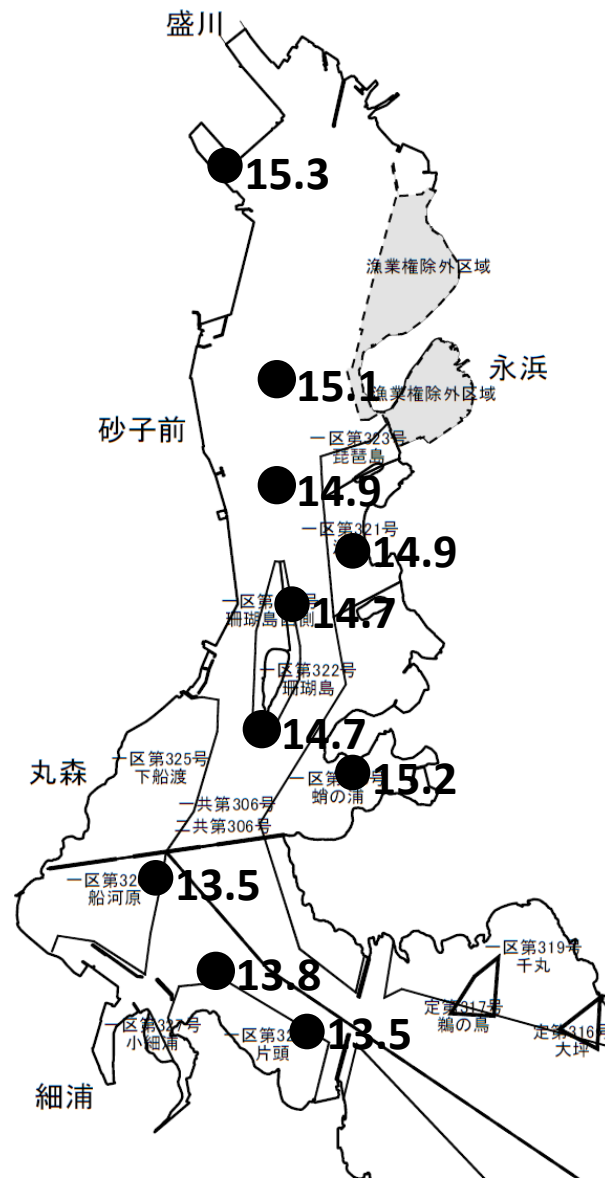


図4 水深10mの水温の推移



©岩手県（漁業権連絡図）

図5 水深2.5mの水温の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨や気温の影響を受けて湾内の水温は変化する。

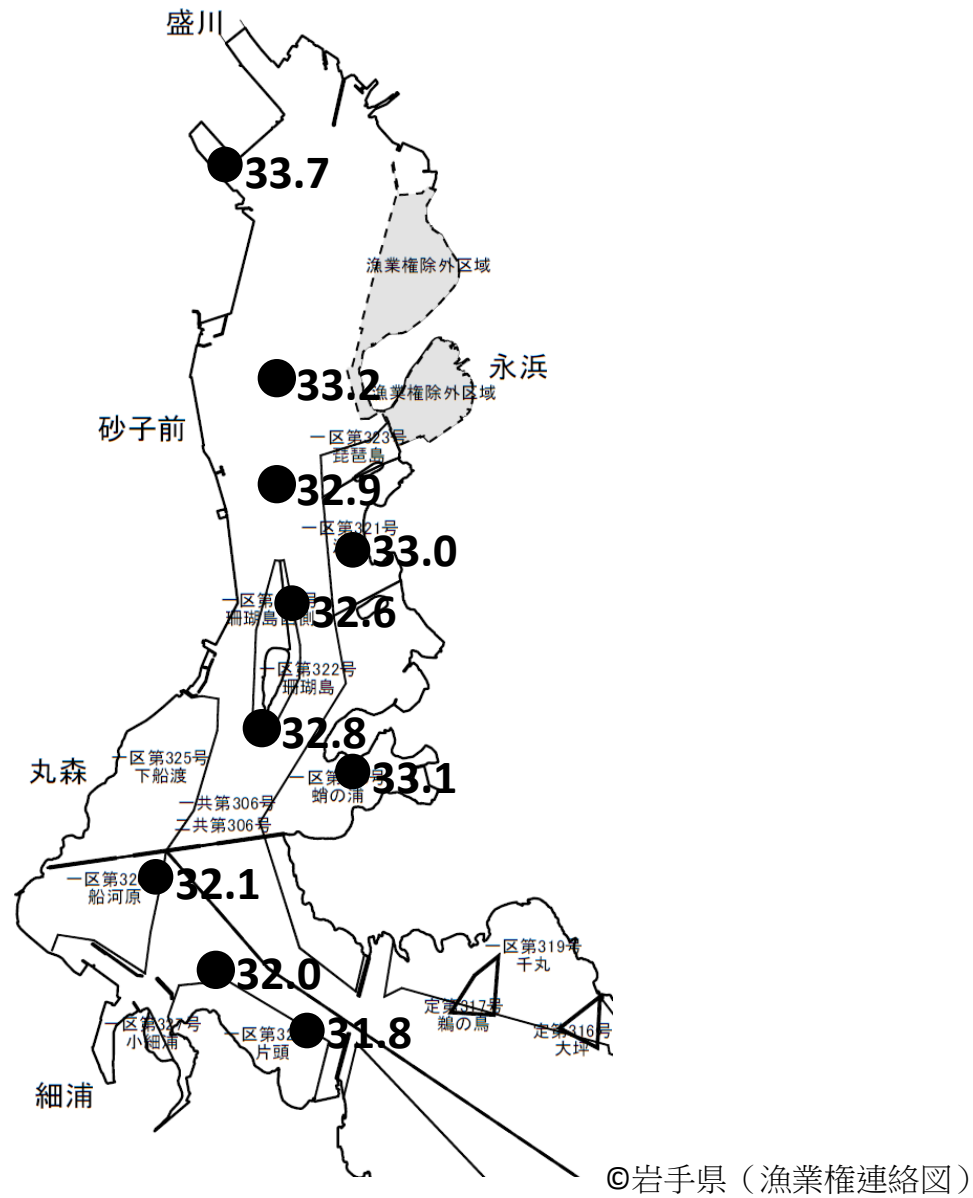


図6 水深2.5mの塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨の影響を受けて湾内の塩分は変化する。

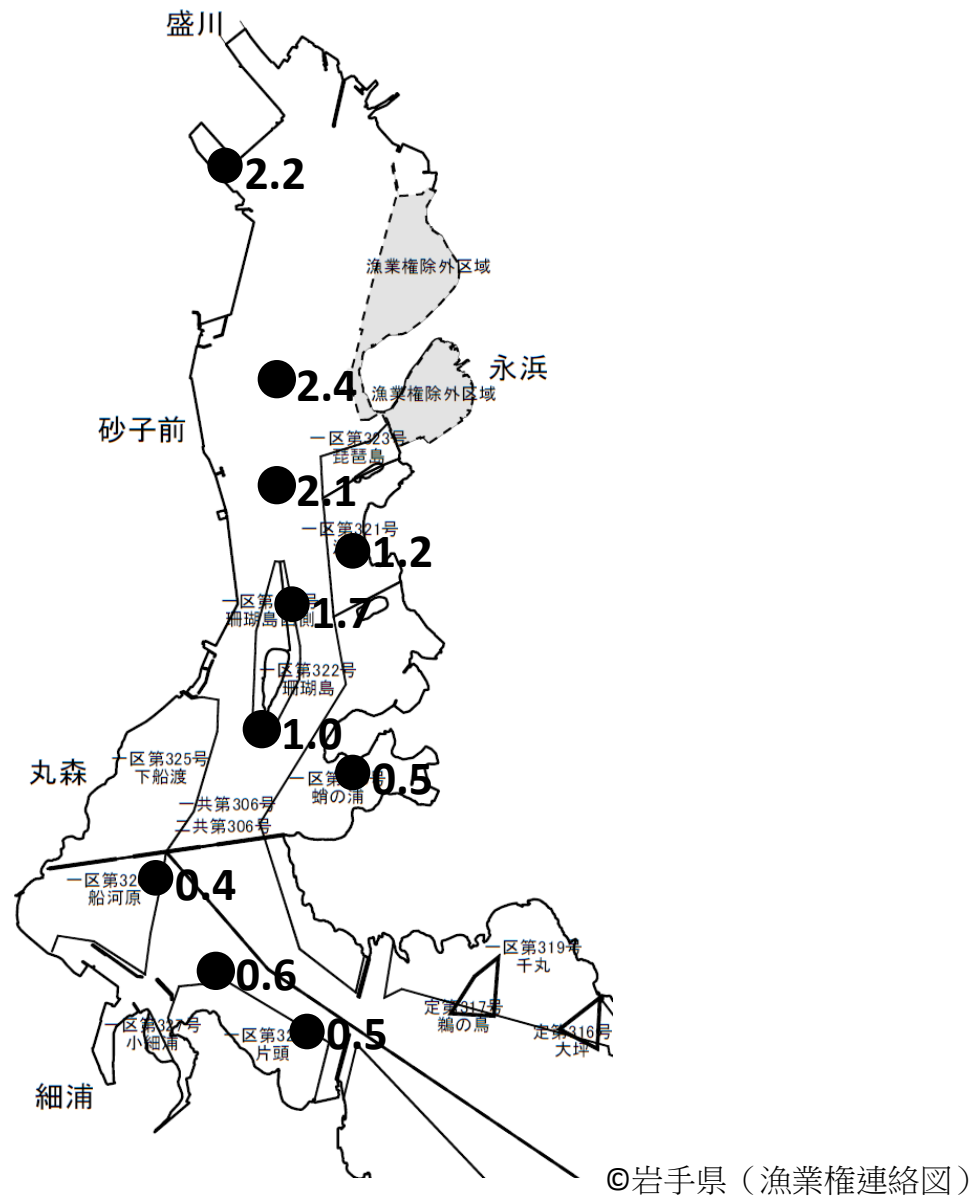


図7 水深2.5mのクロロフィルの分布

※クロロフィルは植物プランクトン量の指標であり、植物プランクトンは二枚貝やホヤ等の餌となる。